

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し(間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は、磁石と電磁石について学びました。

磁石にはN極とS極があり、同じ極どうしを近づけるとしりぞけあい、異なる極どうしを近づけると引き付け合うことをまずは覚えましょう。

磁石に引き付けられる金属は鉄であることは押さえましょう。10円玉は銅でできているので磁石にくっつかないことが分かります。

方位磁石は常にN極が北を指します。これは地球全体が磁石のようなものになっており、北極付近にS極があるため、N極が引き付けられるからです。

磁石に鉄くぎなどをくっつけると、鉄くぎも磁石のようになります。例えば、棒磁石のN極に鉄くぎの頭がくっつくと、鉄くぎの頭の部分はS極になります。逆に、鉄くぎの先端はN極となります。この鉄くぎに新たな鉄くぎをくっつけると、また鉄くぎの頭の部分がN極となり、先端がS極になっていきます。鉄が磁石の性質を持てるようになることをあわせて確認しておきましょう。

コイルに電流を流して磁石になったものに鉄しんを入れたものを電磁石といいます。電磁石の便利な性質は、電流を流す向きを逆にすると極を入れ替えられること、磁石の強さを変えられることです。永久磁石との違いとして、この内容は押さえておきましょう。また、磁石の強さを変える方法も重要ですので覚えましょう。

※第6回G模試の範囲は第39回～第44回内容です。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストで復習用を解き直す	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

担当より一言

今回は、「工業演習」を行いました。

各ページに資料がありますが、工業分野では資料を使った問題が多くなります。これまでの農業や水産業と同様に、書き込みながら解いてほしい問題です。2の問5など、工業地帯・工業地域の名前だけでなく、根拠とした数値にも丸がついているか、確認してください。また、教材の復習用に取り組む際には、とくに「書き込みながら解く」ということを意識しましょう。

今回、とくに見直してほしいのは2です。各工業地帯・工業地域の位置や特徴、工業都市など、さまざまな視点が必要な問題でした。問題を解く中で改めて確認できた特徴もあるでしょう。G模試に向けて、ここに出てこなかった工業地帯・工業地域についても、確認をしておきましょう。

※第6回G模試の範囲は第39回～第44回内容です。